

アジア大都市ネットワーク 21
第9回アジア危機管理会議

実施報告書

2011 年 9 月 27～28 日 ソウル市

【目次】

開催概要	1
実務担当者会議	3
危機管理施設視察	10
会議総括	11

資料

資料 1

第9回アジア危機管理会議次第	12
----------------	----

資料 2

第9回アジア危機管理会議参加者名簿	13
-------------------	----

開催概要

2011年9月、アジア大都市ネットワーク21は、各都市の危機管理に対する経験及びノウハウの共有、危機管理システムの構築を目的とし、「第9回アジア危機管理会議」を開催した。

本会議は、「大規模災害における危機管理組織の役割の変化」をテーマに、2011年9月27日から28日までの間、ソウル消防災難本部の主催により開催され、7会員都市（バンコク、クアラルンプール、ソウル、シンガポール、台北、東京）から参加した約100名の専門家が様々な課題について協議した。

会議には、ウランバートルもオブザーバーとして会議に参加した。同市のバトビレク消防総監は、アジア都市間の国際協力に多大な関心を寄せており、オブザーバーとして同会議に参加することを決定した。

◆ テーマ

「大規模災害における危機管理組織の役割の変化」

◆ 出席者

海外都市：8 都市（27名）

バンコク、クアラルンプール、ソウル、シンガポール、台北、東京、

ウランバートル（オブザーバー）

◆開催都市：ソウル（約120名）

ソウル市消防総監、忠北大学校、ソウル市立大学校都市安全工学研究センター、
韓国防火協会 など

◆ 日程：2011年9月27日（火）～9月28日（水）

月日	内容	場所
9 月 2 7 日 (火)	【実務担当者会議】	ソウル 人材育成センター
	◆ 開会の辞：チェ・ウンギル ◆ ANMC21からの挨拶：志方俊之	
	◆ 基調講演 災害時安全性における大都市の課題と解決策 災害管理に向けた国際社会の協力体制	
	◆ ソウル市からのプレゼンテーション ソウルにおける集中豪雨（2011年）からの教訓 高層ビル火災の予防と対策 ソウル市危機管理の現在と未来	
	◆ 各都市からのプレゼンテーション 〔台北〕「気象予報と災害の緩和」 〔マニラ〕「マニラ首都圏における災害リスクの防止と低減」 〔バンコク〕「バンコク消防救助局」 〔シンガポール〕「大規模災害に対する国際協力」 〔クアラルンプール〕「都市環境と災害」	
	◆ 特別参加都市からのプレゼンテーション 〔ウランバートル〕首都の危機管理局及び災害 ◆ 東京都のプレゼンテーション 「東日本大震災における警視庁の活動」 「東日本大震災を踏まえた大都市における災害の教訓（帰宅困難者対策）」 「福島第一原発事故活動概要」	
	事務局報告	
	次回開催都市決定	
	閉会の辞	
9 月 2 8 日 (水)	◆ 危機管理関連施設視察 1) ソウル市水上消防署 2) ソウル市救急指令センター	ソウル市

実務担当者会議

I. 開会式

(1) 開会の辞：チェ・ウンギル ソウル市消防総監



ご来賓の皆様。第9回アジア危機管理会議にご参集いただき、誠に有難うございます。ソウル市にて、このように皆様とお会いできることを大変嬉しく思っております。

私はソウル市消防総監のチェ・ウンギルです。本年度の会議を主催できたことを大変光栄に思っております。アジアからお越しいただいた参加都市の皆様方には、心より感謝申し上げます。

ご存じの通り、世界は増加を続ける予想不可能な危機に直面しています。近頃発生した大地震、津波、洪水、火山噴火、放射線物質の放出等の災害は、世界の社会経済に深刻な影響を与えました。また今年の夏、ソウル市で発生した100年ぶりの記録的な豪雨は、深刻な人的及び物的被害を残しております。しかしこれら災害は、災害対策方針の見直しを行う契機ともなりました。

現代社会における危機は、周辺諸国に急速かつ広範に蔓延するという特徴を有しており、世界経済にも直接的または間接的な影響を与えます。災害の性質を正確に理解し、災害対策の手法を特定する上で、危機管理の協力体制を構築することは極めて重要かつ避けられないものです。

皆様、人類の生活の脅威となる災害を克服することは私たちの究極目標であり、最終的にこの目標を達成するためには、単独の行動ではなく、相互への依存が肝要となります。

この観点からも、本会議はこうした相互依存的な活動を象徴するものではないかと思っております。共通課題の協議及び貴重な情報交換によって、皆さんが代表する都市に貢献していくことができると信じております。各都市の状況に沿って、こうしたリソースを活用できるはずです。

本会議が、有益な情報共有ならびに周辺国の経験から教訓を学ぶ契機となることを期待しております。

会員都市からご出席いただきました危機管理専門家の皆様に感謝申し上げますとともに、皆様のご多幸と平和をお祈り申し挙げて挨拶と代えさせていただきます。

(2) ANMC21からの挨拶：東京都参与 志方俊之



チェ・ウンギル消防総監、ソウル市からの参加者の皆様、おはようございます。ANMC21の会員都市、ならびに本会議のオブザーバー都市を代表いたしまして、第9回アジア危機管理会議の開催都市でありますソウル市の皆様に対して、本会議の準備へのご尽力に、心からの感謝の意を表します。

過去8回のアジア危機管理会議に参加してまいりましたが、最近になってアジアでは、台風、洪水、地震等の大規模な自然災害が頻発しております。スマトラ沖地震及び津波、ミャンマーで猛威を振るったサイクロン・ナルギスによる大規模な被害に同地域は見舞われましたが、日本も例外ではありません。今年に入って、日本では台風12号（タラス）と東日本大震災という二つの大規模な自然災害を経験しました。

東日本大震災は、大規模災害時における国際協力の重要性を再認識する契機となりました。災害発生後、142か国及び地域、そして39の国際機関が、日本に支援の手を差し伸べてくださいました。この内、17か国には救助隊を派遣していただいております。こうした支援・援助の輪が、悲惨な状況下で麻痺状態にある被災者に計り知れない勇気を与えました。この機会をお借りして、皆様方のご協力、ご支援に感謝の意を表したいと思えます。

危機の際に最も被害を受ける可能性があるのは大都市であり、復興に際し、最も強い協力ができるのも大都市であります。こうした大都市のネットワークであるANMC21の重要性は、日々増加してきていると考えます。アジア主要都市の危機管理専門家が同じ屋根の下に集まり、知識や経験を共有するというこの貴重な機会を効果的に活用することで、相互の能力が強化されることを強く期待しております。今後も、アジア危機管理会議が、災害時における各都市の力強い協力体制を築き上げていく契機となることを期待しています。

I. 各都市からのプレゼンテーション

1. 第1部：ソウル市のプレゼンテーション

(1) 災害時安全性における大都市の課題と解決策

(ソウル市立大学 都市安全工学研究センター所長 Mr. Myong O Yoon)

韓国では、大邱地下鉄放火事件、ホテル大然閣の火災、三富百貨店での火事、聖水大橋の崩壊、国宝第1号崇礼門の放火、シラード・ユースセンターの火災という過去に6件の大規模な災難が発生している。特に三富百貨店の崩壊では、死者数が501名、負傷者が937名に及んだ。ソウル市の災害／災難は、1) 各ケースに対する死亡率は高いが、人口に対する死亡率は低い、2) 他国を上回る高い被害率、3) 放火事件の増加という面で、他都市の災害／災難とは大きく異なる。

効果的な災害方針を構築するには、災害の過程、サイクル、構造を検討しなければならない。災害時安全性における未来志向の課題として、効率性 (Efficiency)、経済性 (Economy)、感情性 (Emotionality)、環境 (Environment-ECO)、有効性 (Efficacy) という5つのEに焦点を当てる必要がある。

(2) 災害管理に向けた国際社会の協力体制

(忠北大学校 行政学部 Mr. Jae Eun Lee)

それぞれの国家が破壊的な危機や極度の緊急事態に対応できる能力は限られている。よって、組織的な手法、コミュニケーション及び意思決定手法、計画手法、活動調整体制が重視されてきた。連携及び協力体制の構築、法的権限、意志疎通経路、機関やプログラムを中心とする意思決定体制、国家間の実働演習及び訓練、危機のあらゆる段階及び緊急管理における協力体制に関する代替案が提案されている。

小規模な危機や緊急事態は、各国が独自で対応可能だが、破壊的で大規模な災害や危機は一国では対処しきることはできない。危機の性質は変化を遂げており、従来の災害対応策が疑問視されている。大規模な脅威が台頭する中でネットワークは非常に貴重な存在だ。よって、周辺国はより効率的な災害防止及び対策に向け、緊密に連携する必要がある。

(3) ソウルにおける集中豪雨 (2011年) からの教訓

(ソウル市消防局救助隊隊長 Mr. Yeong-Phal Lee)

韓国は深刻な気候変動に見舞われている。気温上昇幅は倍増しており、年々増加する降雨量は前年の記録を上回る形で推移している。2011年7月、牛眠山では、局所的な集中豪雨と不安定な地盤が原因で、大規模な土砂崩れ発生した。死亡者16人、負傷者20人、801世帯が泥浸水の被害を受けた。

この災害の教訓及び結果として、災害防止方針の立案には、専門家グループの戦略的なアプローチが必要であること、効果的な災害準備及び災害対策には、災害対策組織の相互協力が必要であることを学んだ。つまり、一層強化された災害防止及び災害準備に対する要求が高まっているのだ。

(4) 高層ビル火災の防止と対策

(ソウル消防アカデミー Mr. Chan-Seok Park)

2010年10月1日の午前11時33分ごろ、海雲台区佑洞の「ウシンゴールドスイート」にて、4階管理人室の電気火花が原因で出火し、リサイクル選別場から上の階へと燃え移る火災が発生した。高層ビル火災に対する効率的な対応システムを構築するため、既存のヘリコプターに追加の放水砲を装備し、70メートルはしご付き消防車の来年の導入を検討している。

(5) ソウル市危機管理の現在と未来

(緊急指令センター Mr. Keun-Cheol Lee)

ソウル市で発生するあらゆる種類の災害／災難に対して、ソウル市消防災難本部は迅速かつ正確に状況対応している。統合指令システムを採用する119番緊急指令センターでは、あらゆる災害や災難に関する通報を受信し、コンピュータ情報システムを通して、各ケースに迅速かつ効果的に対処している。さらに、プロフェッショナルな隊員と最新鋭の技術を駆使し、人的または物的被害の最小化に向け継続的に努力している。緊急指令センターでは、緊急事態に備えて隊員が常に待機している。

2. 第2部：各都市からのプレゼンテーション

(1) 災害時安全性における大都市の課題と解決策

(台北市政府消防局 Mr. Yu-Cheng Kao)

台北市は、三辺を山で囲まれ、河川が交差する盆地に位置している。約55%の面積は丘の中腹にあり、地質が脆弱であるため深刻な災害被害が発生しやすい。

台北市は、梅雨前線や午後の雷雨、毎年5月～11月に発生する台風など、厳しい気象状況の影響を受けている。統計によると、1897年から2010年までに台湾で417の台風が発生している。最も頻度が高い月は、8月、続いて7月、9月の順である。

これを背景に、共同ワーキンググループでは、緊急事態、特に気象関連の自然災害に対する教育機関及び危機管理機関の連携を促すモデルを構築した。意思決定プロセスを支える追加情報として、高度な観測／解析技術と数値予測プロダクトも活用されている。高度設計かつパワフルな情報統合および3D表示プラットフォームで、効率的な意思決定プロセスを促進することができる。

この協力体制と3Dプラットフォームは、近い将来に私達が直面する課題への対処を念頭に、気候温暖化にも適用するべきだ。

(2) マニラ首都圏における災害リスクの防止と低減

(マニラ首都圏開発局 Mr. ATTY. FRANCIS N. TOLENTINO)

月平均の降雨量を僅か12時間で記録した集中豪雨は、マニラ首都圏各地で最大5メートルの浸水被害をもたらした。最大の被害を受けたのはマニラ首都圏東部で、水が完全に引くまで2週間以上の時間を要した。こうした災害を防止すべく、あらゆる種類の災害や緊急事態に適応できる包括的かつ柔軟性のある緊急事態対策アプローチを採用していく。政府または民間を問わず、対応機関の連携を向上させることが目的となる。

(3) バンコク都消防救助局

(バンコク都消防救助局 Mr. Tevanuwat ANIRUTH-DEVA)

バンコクは、空、陸、海を介したタイの経済、政治、投資の中心地となってきた。1996年のユーロモニターのウェブサイトでは、バンコクは世界各国より観光客が訪れる観光地としてイギリスに次ぐ第2位の地位を獲得している。幸運なことに、バンコクは、世界でも自然災害が少ない都市の一つとなっている。「共に実現する」をスローガンとするバンコクのスクムパン・ボリパット知事は、バンコクは居住に最適で温暖な都市であるとしている。

バンコクが、2012年第10回アジア危機管理会議の開催国に選択されることも期待している。私達のこの望みに皆様が賛同してくださることを希望しつつ、この素晴らしい組織の会議を主催するという責務に最善を尽くしていく所存である。会員都市の友人やメンバーである皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げる。

(4) 大規模災害に対する国際協力

(シンガポール市民防衛庁 Mr. Ng Chee Kiang)

1990年に設立されたライオンハートは、国際搜索救助諮問グループ (INSARAG) ガイドラインに基づき、都市における搜索救助 (USAR) の訓練を受けた、派遣要請から2時間に出動できる24時間待機の救助隊で編成される。医療チーム、救助エンジニア、危険物処理等の隊員と搜索犬で構成される同救助隊は、2週間分の輸送車両、支援物資及び通信器材を装備している。同組織は、アジア太平洋地域で初めて、INSARAGの外部評価分類 (IEC) に基づく 重型救援隊に認定されている。INSARAGは、都市搜索、救助、災害対応関連の問題に対処する政府間ネットワークである。

国連災害評価調整 (UNDAC) は国連人道問題調整事務所 (OCHA) によって1993年に設立された。災害管理の専門家で構成されるUNDACチームは常に待機状態にあり、派遣要請から数時間以内で現地入りができるような準備体制を取っている。優先的ニーズを迅速に評価し、現地の国際支援体制の調整を通して、国家機関や国連駐屯調整官の支援に資する。

(5) マレーシアの災害準備及び対応

(民間防衛訓練アカデミー Mr. Abdul Wahab Bin Rahim)

クアラルンプール市街地で発生した洪水からの復興に向け、マレーシア政府は同市の洪水問題を軽減するための連邦政府プロジェクトとして洪水防止用自動車トンネル「SMART」(略: Stormwater Management and Road Tunnel) を構築することを決定した。

さらに、地滑りによる被害削減を目指した、包括的かつ効果的な国家政策、戦略、活動計画の具体案を提供する、国家地滑り総合計画 (NSMP) の策定も決定。NSMPは、クアラルンプール行き的高速道路を遮断した大規模な岩盤すべりの発生を機に開始されたもので、調査は2008年12月に完了している。

マレーシアは、国連人道的緊急支援基地の第5番目の設置国に選択されており、同基地をスパン州及びスランゴール州のマレーシア空軍基地に建設する。クアラルンプールは、国際的な慈善機関にとって不可欠な後援物資を保管する国際ネットワークに参画することとなる。

3. 第3部：ウランバートル及び東京都からのプレゼンテーション

(1) ウランバートルの危機管理局

(危機管理局 Mr. Erdenebaatar Dugeree)

モンゴル国では、総人口の約半数（約100万人）がウランバートルに居住している。この首都の危機管理局は、9県の危機管理局、14の救助消防隊、緊急チーム105に従事する800名の職員の統括を行っている。危機管理局の主な責務は、市民、動物、財産、環境を守り、救助、災害対応、復旧活動を調整することである。市民や組織に専門管理の提供を保証しながら、国家災害保護視察を実施している。

(2) 東日本大震災における警視庁の活動

(東京都警視庁 山上正彦氏)

東日本大震災の活動として、被災地の交通状況の情報収集、生存者の搜索、災害救助車両のための道路確保などを紹介した。

宮城県、岩手県では、津波により家屋が原型をとどめない状況の中、取り残された住民を救助するためヘリによる搜索、重機を使った搜索、被災地の住民のメンタルケア、物資の運搬を行った。

地震などの災害発生時には初期段階で被害情報を集約収集することが、迅速な救助のために重要であることを強調。

警視庁の災害警備支援システムを活用し、交番、パトカー、白バイ、警備艇、ヘリコプターをフルに活用して被害情報、道路交通情報を収集するだけでなく、タクシー運転手などの民間人からの情報も集約している。これらの情報を東京都、東京消防庁に提供し、共有化を図っていること紹介した。

(3) 東日本大震災を踏まえた大都市における災害の教訓

(総務局総合防災部 伊藤浩之氏)

東日本大震災の教訓として、帰宅困難者対策の現状と課題を説明した。

被災地からは遠く離れた東京でも被害があったこと、公共交通機関が麻痺したため、特に勤務先から自宅に帰ることができない帰宅困難者が約300万人発生したとの報道があったことを紹介。

また、首都圏直下型地震が起きた場合の帰宅困難者が392万人になるという予想を示し、都民に求めている行動としては、むやみに帰宅しない、家族と連絡をとるという心得を示した。また、職場にスニーカーを置いておくこと、家までの地図をつくっておくことを推奨している。

これまでも、ガソリンスタンドやコンビニとは水の供給やトイレの利用ですでに協定を結んでいたが、今回の震災で不十分なことも明らかになった。

今後の対策として、すぐに帰宅することの抑制、待機施設・食料提供の協定を結ぶこと、帰宅困難者に適切な情報提供を行うこと、帰宅支援ステーションを推し進めるとともに代替輸送手段を検討することも今後進めていく必要があることに言及。いずれも広域的な取り組み、民間事業者との協働、住民がお互いに助けることが重要であることを強調した。

(3) 東日本大震災 ～福島第一原発事故活動概要～
(東京消防庁消防技術安全所 生田眞勝氏)

福島第一原発における消防庁の活動を紹介した。

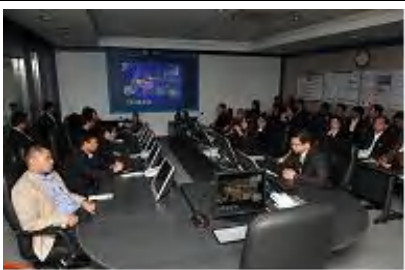
まず、地震の概要を説明し、さらに防災教育の重要性をエピソードとともに説明した。津波を受けたある小学校の生徒が、学校の3階に避難していたが、近くの中学生在が高台に避難するのを見て、小学生も一緒に高台に避難した。高台に避難をするという、日頃の教育の重要性を語るエピソードを伝えた。

次に福島第一原発事故の際の活動の詳細を時間経過とともに紹介。3号機の火災のために緊急避難を余儀なくされたことなどの苦労したエピソードを紹介し、原子力発電所への放水作業の困難さを浮き彫りにした。6人の隊員が10ミリシーベルト以上被爆したことを披瀝し、原子力発電所への対応の際の安全管理の重要性を強調。

自ら原子力発電所での対応を指揮した体験から、最後にあるべき対応方法を説明。放射能災害を想定した教育、作戦のアドバイザーとして高度な専門家、医師を部隊に編入させること、一緒に訓練を行うこと、隊員の不安感を払拭するために機材は最新のものを導入することを推奨、今後東京消防庁としても組織して検討する必要性があることに言及した。

危機管理施設視察 ： 119番緊急指令センター

2002年に開設された韓国で最大且つ最新鋭の危機管理施設である、119番緊急指令センターを視察した。ソウル市では、あらゆる種類の災害／災難通報を119番に集約するシステムを採用している。ソウル首都圏では、全ての災害及び災難通報に119番が対応している。119番緊急指令室、災害指令室、民間防衛警報室、自然災害管理室を一箇所に集約し統合管理することで、あらゆる災害や災難に迅速に対応することができる。この統合管理システムでは関連機関の連携が可能となるため、大規模な災難に対する迅速かつ包括的な対処、緊急事態の関連情報の共有を通して、死亡者数の最小化や人命救助に資することができる。緊急指令センターは、あらゆる災害／災難に対して迅速かつ正確に状況対応している。統合管理システムであらゆる種類の災害／災難に関する通報を受け、コンピュータ情報システムを介して各事象に迅速かつ効果的に対処している。さらに、プロフェッショナルな隊員と最新鋭の技術を駆使し、人的または物的被害の最小化に向け継続的に努力している。緊急事態に備え、センターの隊員は常に待機状態にある。

		
施設の視察	広報ビデオの鑑賞	外観

危機管理施設視察 ： ソウル市水上消防署

ハン川の水上消防署を訪問し、ハン川における人命救助や救命処置等の災害管理の取組を視察した。ハン川南西に位置する水上に浮かんだこの危機管理施設では、永登浦水難救助隊が水災やあらゆる異常事態に対応すべく準備体制を整えている。ハン川では人命の脅威となる物質が増大している。同救助隊は川のアクセス困難な場所にも対応可能である。

		
救助艇の外観	救助艇の視察	救助艇の放水砲

アジア大都市ネットワーク 21 第9回アジア危機管理会議・総括

アジア大都市ネットワーク21（ANMC21）に加盟する都市は、ANMC21の共同事業のひとつである「危機管理ネットワーク」に於いて、各都市の危機管理に関するノウハウの蓄積と共有を進め、危機管理体制の強化に結びつけることを目的に、「第9回アジア危機管理会議」を開催した。

2011年9月27日から28日までの間、ソウル市消防災難本部の主催によって開かれたこの会議には、会員都市のバンコク、クアラルンプール、マニラ、シンガポール、ソウル、台北、東京、ならびに、ウランバートルがオブザーバーとして出席した。

1. 大きな進歩と成果を遂げた危機管理ネットワークだが、東日本大震災のような多様な危機に直面した。地球規模の気候変動により、アジア各地にて大規模な洪水も発生している。会議を通して、危機管理ネットワークにおいて、災害の防止、軽減、対応、復旧に向けた協力を強化するための方策について徹底的に議論し、貴重な知識と能力開発プロジェクトに関する情報を共有することができた。
2. さらに、危機管理能力の一層の強化、経験と知識の共有、持続的な訓練演習によってのみ、危機管理ネットワークの連携を強化することができ、緊急対応、相互援助、効果的な伝達システムの発展に向けた協力体制を実現できることを確認した。
3. 次回、第10回アジア危機管理会議を2012年の適切な時期にバンコクで開催することに合意した。

第 9 回アジア危機管理会議 次第

時間	内容	発言者
10:00~10:30	開会のアナウンス	
	開会の辞	チェ・ウンギル
	アジア大都市ネットワーク21からの挨拶	志方俊之
	参加者の紹介	
	ソウル消防災難本部の紹介	
	お土産の交換と写真撮影	
第1部： ソウルからの基調講演及びプレゼンテーション（議長：Prof. Myong-O, Yoon）		
10:35~13:30	◆ 基調講演 災害時安全性における大都市の課題と解決策 災害管理に向けた国際社会の協力体制	Prof. Myong-O, Yoon Prof. Jae-Eun, Lee
	◆ ソウルからの発表 ソウルにおける集中豪雨（2011年）からの教訓 高層ビル火災の防止と対策 ソウル市危機管理の現在と未来	Yeong-Phal, Lee Chan-Seok, Park Keun-Cheol, Lee
	質疑応答	
	昼食	薔薇の間（一階）
第2部 各都市のプレゼンテーション		
13:30~15:35	〔台北〕「気象予報と災害の緩和」 〔マニラ〕「マニラ首都圏における災害リスクの防止と低減」 〔バンコク〕「バンコク消防救助局」 〔シンガポール〕「大規模災害に対する国際協力」 〔クアラルンプール〕「都市環境と災害」	Yu-Cheng Kao Francis N. Tollentino Tevanuwat Aniruth-Deva Chee Kiang Ng Abdul Wahab Bin Rahim
	質疑応答	
	休憩	
	祝賀パフォーマンス	韓国119少年合唱団
第3部 特別参加都市及び幹事都市のプレゼンテーション		
15:35~17:30	◆ 特別参加都市からのプレゼンテーション 〔ウランバートル〕 大都市の緊急管理局及び災害 ◆ 東京からのプレゼンテーション 「東日本大震災における警視庁の活動」 「東日本大震災を踏まえた大都市における災害の教訓」 「福島第一原発事故活動概要」	Erdenebaatar Dugeree 山上正彦 伊藤浩之 生田眞勝
	質疑応答	
	事務局報告	吉田隆雄
	次回開催都市決定	事務局
	閉会の辞	チェ・ウンギル

The 9th Asian Crisis Management Conference

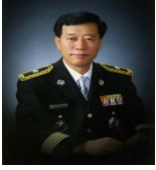
Participants List

 Seoul

Tel : +82-2-3706-1314

Email : skt9295@seoul.go.kr

Photo	Name	Organization	Position
	Ung-Gil, Choi (최웅길)	Seoul Fire & Disaster Department (서울소방재난본부)	Fire Commissioner (본부장)
	Sang-Gu, Lee (이상구)	Seoul Fire & Disaster Department (서울소방재난본부)	Director of Administrative Division (행정과장)
	Sung-Jun, Moon (문성준)	Seoul Fire & Disaster Department (서울소방재난본부)	Director of Disaster Response Division (재난대응과장)
	Jun-Ho, Jin (진준호)	Seoul Fire & Disaster Department (서울소방재난본부)	Director of Fire Prevention Division (예방과장)
	Dug-Jin, Kim (김덕진)	Seoul Fire & Disaster Department (서울소방재난본부)	Director of Safety Support Division (안전지원과장)
	Young-Cheol, Yun (윤영철)	Seoul Fire & Disaster Department (서울소방재난본부)	Director of Fire Audit & Inspection (소방감사반장)
	Jong-Soon, Lee (이종순)	Seoul Emergency Operations Center	Chief (소장)

		(종합방재센터)	
	Jae-Hwa, Lee (이재화)	Seoul Fire Academy (서울소방학교)	Principal (학교장)



Tel : +82-2-3706-1314

Email : skt9295@seoul.go.kr

Photo	Name	Organization	Position
	Seon-Ho, Cho (조선희)	Seoul Fire&Disaster Department (서울소방재난본부)	Manager of Fire Policy Team (소방정책팀장)
	Kyung-Keun, Kim (김경근)	Seoul Fire&Disaster Department (서울소방재난본부)	Assistant Manager of Fire Policy Team (총무 담당)
	Jong-Chung, Lee (이종충)	Seoul Fire&Disaster Department (서울소방재난본부)	Assistant Manager of Fire Policy Team (기획 담당)
	Min-Jun, Shin (신민준)	Seoul Fire&Disaster Department (서울소방재난본부)	Officer in the charge of International Cooperation (국제협력 담당)
	Yong-Gwan, Lee (이용관)	Seoul Fire&Disaster Department (서울소방재난본부)	Officer in the charge of Code of Conduct (복무담당)
	Dae-Sung, Kim (김대성)	Seoul Fire&Disaster Department (서울소방재난본부)	Officer in the charge of Civil Petition (민원담당)

	Hee-Sung, Kim (김희성)	Gwangjin Fire Station (광진소방서)	Fire fighter Supporter for the 9th ACMC (경방 / 위기관리회의 지원)
---	-------------------------------	---	--

size : 7x0.7m(1EA)



Tokyo

Tel : +813-5388-2238

Email : Kohei Kobayashi@member.metro.tokyo.jp

Photo	Name	Organization	Position
	Toshiyuki Shikata (토시유키 시카타)	Tokyo Metropolitan Government (도쿄시)	Counselor to the Governor of Tokyo (시정고문)
	Hiroyuki Ito (히로유키 이토)	Disaster Prevention Division, Bureau of General Affairs, Tokyo Metropolitan Government, (총무성 재난예방과)	Director for Disaster and Emergency Information (재난정보팀장)
	Masahiko Yamagami (마사히코 야마가미)	Security Bureau, Tokyo Metropolitan Police Department (경시청 경비부)	Police Superintendent, Disaster Division (재해대책과장)
	Fumio Ishizaki (후미오 이시자키)	Security Bureau Tokyo Metropolitan Police Department (경시청 경비부)	Assistant Police Inspector, Disaster Division (재해대책담당관)

	Masakatsu Ikuta (마사카츠 이쿠타)	Fire Technology and Safety Laboratory Tokyo Fire Department (소방본부 소방연구소)	First Assistant Chief (수석부소장)
	Yoshihiro Nakatsugawa (요시히로 나카츠가와)	Kasai Fire Station, Tokyo Fire Department (도쿄 가사이소방서)	First Sergeant, Administration Section (수석 행정담당)
	Takao Yoshida (타카오 요시다)	Headquarters of the Governor of Tokyo (정무조정실)	Director for International Joint Projects (ANMC21), International Affairs Division (국제협력과장)
	Kohei Kobayashi (고헤이 고바야시)	Headquarters of the Governor of Tokyo (정무조정실)	Coordinating Supervisor for International Joint Projects (ANMC21), International Affairs Division (국제협력담당관)
	Ryoko Sakoda (료코 사코다)	Headquarters of the Governor of Tokyo (정무조정실)	Senior Staff Member for International Joint Projects (ANMC21), International Affairs Division (국제협력담당자)

 **Bangkok**

Tel : +66-84-906-9989

Email : JPeerasap@yahoo.com

Photo	Name	Organization	Position
	Tevanuwat Aniruth- Deva	Fire & Rescue Department	Policy & Planning Analyst,

	(테나왓 애니루쓰-데바)	(소방구조과)	(Expert Level 9) (정책기획분석가)
	Phimlaphatr Buajud (필람파타르 부아주드)	Fire & Rescue Department (소방구조과)	Training Officer(Level 6) (교육담당관)
	Jiraporn Pungprawat (지라폰 펑프라왓)	International Affairs Division (방콕시 국제협력과)	Senior Foreign Relations Officer (담당관)
	Ruchakorn Napapornpipat (루차콘 나파포롱피파트)	National Security Council (국가안전위원회)	Director of Preparedness Strategy Defense Bureau (예방전략국장)

Singapore

Tel : +65-68481650

Email : TAN Jee Piau@scdf.gov.sg

Photo	Name	Organization	Position
	Jee Piau Tan (지빠우 탄)	Planning and Corporate Department, Civil Defence Force (내무부 기획협력과)	Assistant Director (기획협력과장)
	Chee Kiang Ng (치키앙 엔지)	Service Excellence Department, Civil Defence Force (내무부 서비스혁신과)	Director (서비스혁신과장)

Taipei

Tel : +886-2-8786-3104

Email : bojrhwang@tfd.gov.tw

Photo	Name	Organization	Position
-------	------	--------------	----------

	Jia-Yi You (지아 이 유)	Information Technology Service Division, Fire Department. (타이페이시 소방국)	Chief (정보기술과장)
	Yu-Cheng Kao (유청 카오)	Preparedness and Response Division, Fire Department (소방국 예방대응과)	Assistant Planner (기획담당보)

 Manila

Tel : +632 682-9281

Email : chairman.francis.tolentino@gmail.com

Photo	Name	Organization	Position
	Francis N. Tolentino (프란시스 톨렌티노)	Metropolitan Manila Development Authority (마닐라시 개발추진단)	Chairman (단장)
	Jose Fabiani I. Cadiz (호세 파비아니 카디즈)	City of Marikina (마리키나시)	Vice Mayor (부시장)
	Antolin A. Oreta III (안토린 오레타 3 세)	City of Malabon (말라본시)	Vice Mayor (부시장)
	Ramon J. Santiago (라몬 산티아고)	Metropolitan Manila Development Authority (마닐라시 개발추진단)	Consultant (자문위원)

 Ulaanbaatar

Tel : +976-11-2624-16

Email : Nema Mongolia@yahoo.com

Photo	Name	Organization	Position
-------	------	--------------	----------

	Batbileg Khalzankhuu (바트빌레그 칼잔쿠)	Emergency Management Department (소방본부)	Director (소방국장)
	Purebdaavuu Dendev (프레다브 덴데브)	Emergency Management Department (소방본부)	Head, Service for Reserve (예방과장)
	Erdenebaatar Dugeree (이든바타르 두그레)	Emergency Management Department (소방본부)	Deputy Director (부국장)
	Erdenet Altangerel (이드넷 알탄게렐)	Emergency Management Department (소방본부)	Officer, Administrative Division (행정과 주무관)
	Munkhbayar Khuukhenduu (몽크바야르 쿠켄두)	Emergency Management Department (소방본부)	Accounted of Songinokhairhan district (경리담당)

 **Kuala Lumpur**

Tel : +03 89262991

Email : Mohd syukri@civildefense.gov.my

Photo	Name	Organization	Position
	Abdul Wahab Bin Rahim (압둘 와합 빈 라힘)	Malaysia Civil Defense Department (쿠알라룸푸르시)	Commandant, Civil Defense Training Academy (민방위학교장)